

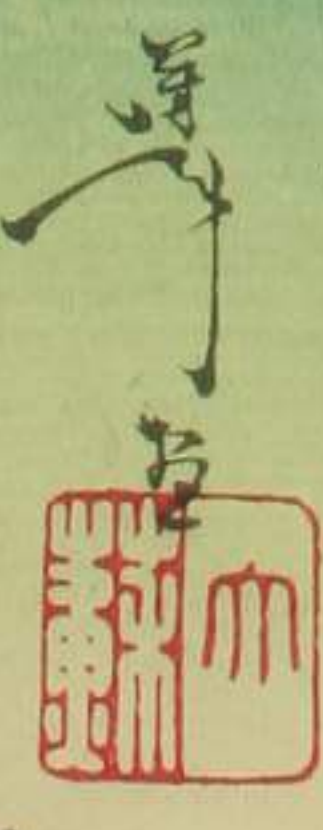
近世人物誌

やまと新聞附録(第)

伴林六郎光平
伴林六郎光平ハ萬齋ト号
す初め僧侶ナリハ後髪を
蓄けて和州徳島の里に住す
よりて又群鳩ト号す最も
和歌を巧みせハ愛國の志
深りてを以て大和の義舉
加はりて既して天の川邊
の陣敷ニ一軍ヲ津川郷ニ退
き保せ時赤根藩の兵來り
襲ひり光平鎧を提げ々々
少壯の士ヲ混れ將ニ敵軍
ヲ赴らんとして此日恰も九月
九日ありけき光平今を盛り
と谷陰ニ咲満りたる菊の花
を一本手折りてさかざり
出るとして斯か口つさくけ
身をゆくとくを代と折らぬ
大丈夫也



發行所 東京 橋区 藤野 丁百番地 やまと新聞社
編輯 奥 泉 政 二



圓活刀

75
70
65
60
55
50
45
40
35
30